

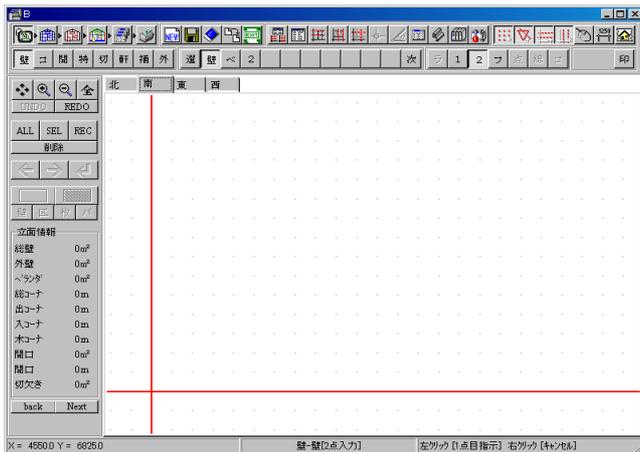
# SDデザイナー

## VERSION 2.20.1 変更内容

- ① 2点入力時にダイアログを表示してW・H等の数値を編集できる機能を追加

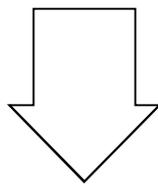
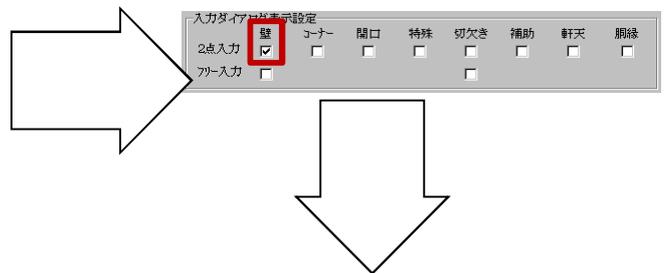
壁などの2点を入力する場合、2点目を入力後、設定するダイアログを表示し、設定値に反映できるようになりました。

この操作を可能にするためには、<環境設定> - <立面入力> の[入力ダイアログ表示設定] の設定を行う必要があります。

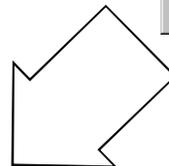
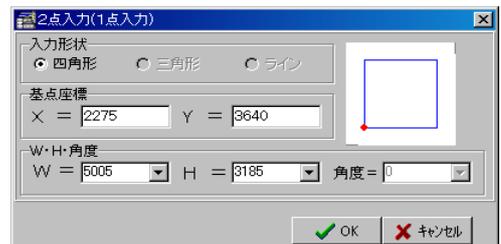
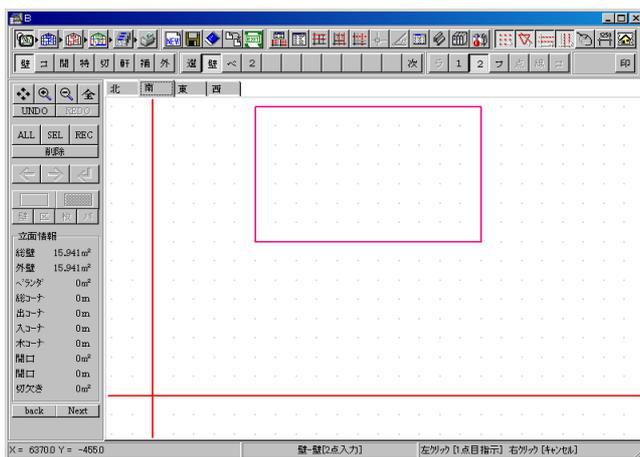


新しい入力の流れ

[環境設定画面]画面



今までの流れ



[2点入力画面]画面

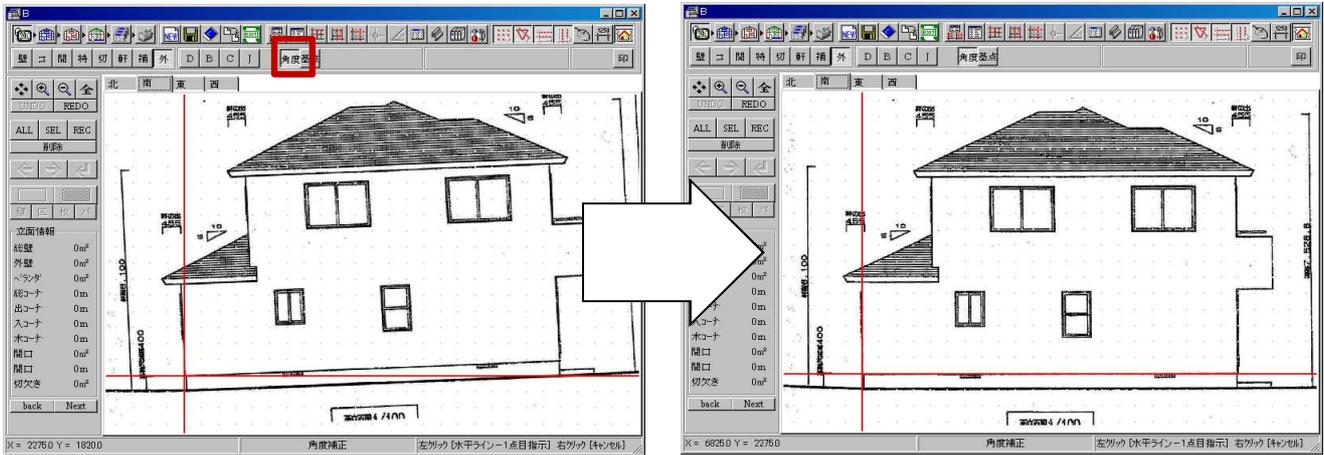
入力画面

②入力処理画面で、取込画像（BMP）の角度補正と基点指示保持する機能を追加

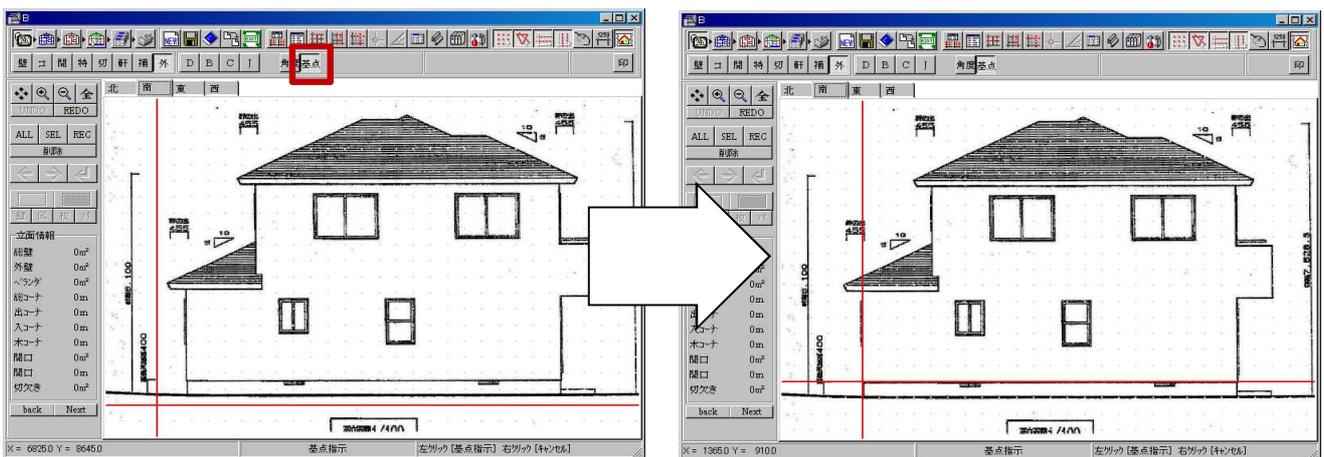
外部データBMPを取り込んだ後、新設された角度補正ボタンを指示し、マウス角度補正により設定値に反映できるようになりました。

また、新設された基点指示ボタンを指示することで、基本値を反映できるようになりました。

角度補正



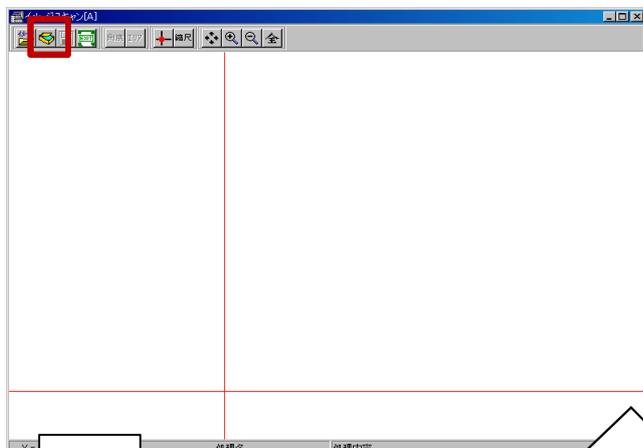
基点指示



### ③スキャナからの下絵直接読み込み機能を追加

今までは、スキャナから取り込んだデータに変換していましたが、新設されたスキャナ取込ボタンを指示することで、直接画像を下絵として反映できるようになりました。

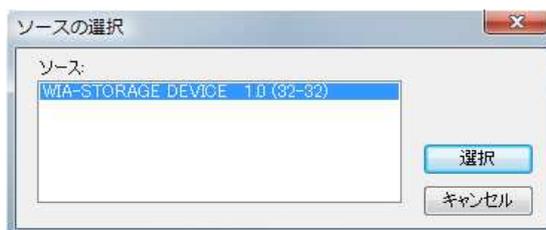
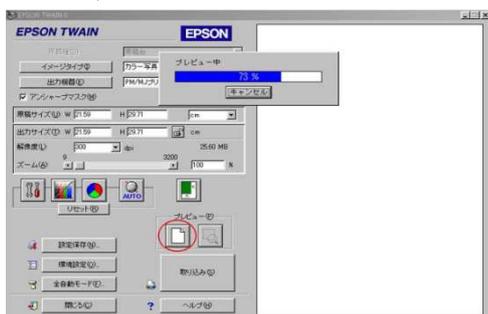
#### スキャナ取込



スキャナ取込ボタンは、  
ドライバが使用できない、または、  
スキャナが接続されていない、または、  
接続されていても電源が入っていない場合、  
ボタンが押せない状態になっています。

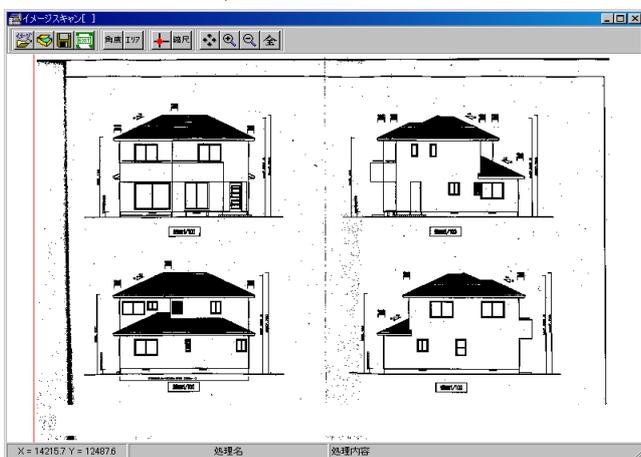
1つの場合

複数の場合



[スキャナ選択画面]画面

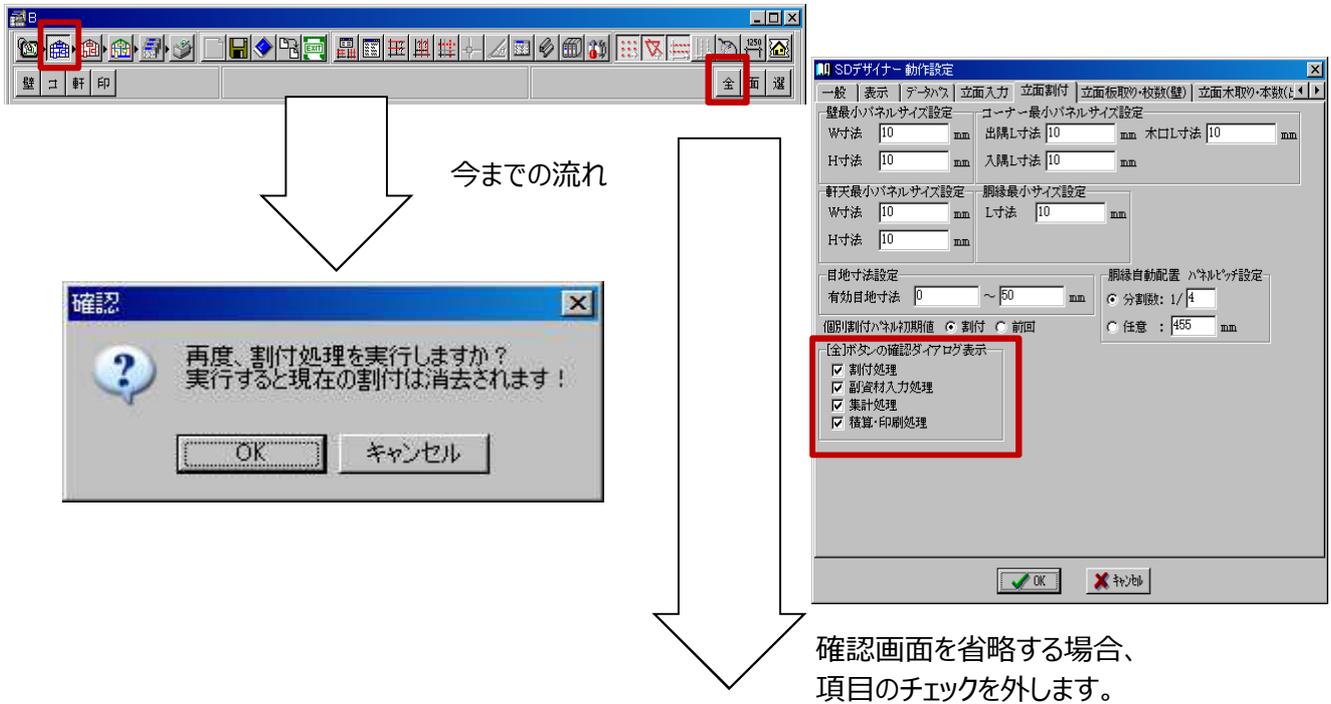
取込



④ 割付処理画面の「全」ボタンをクリックした時確認画面を省略する機能を追加

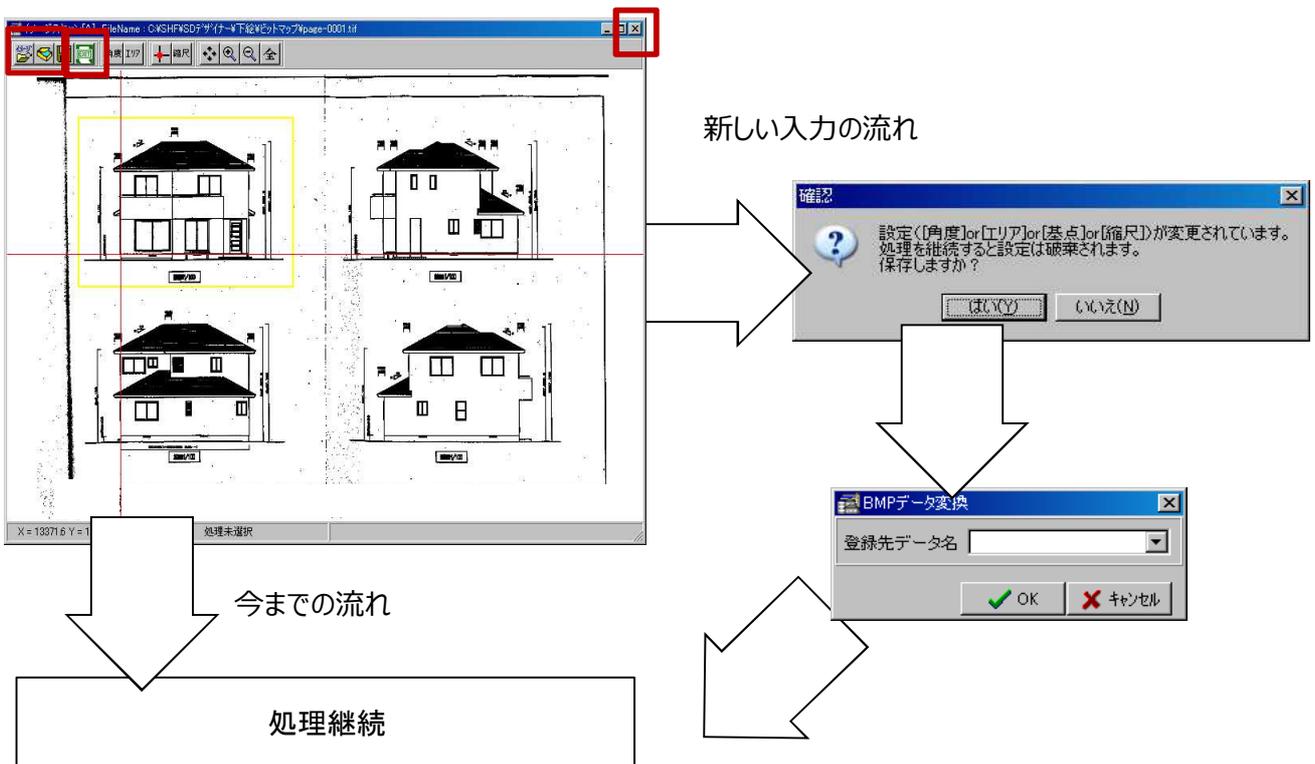
割付の全ボタンを指示した場合、確認ダイアログ画面について、設定を省いて入力画面に進むことが可能になりました。

この操作を可能にするためには、〈環境設定〉 - 〈立面割付〉の[全ボタンの確認ダイアログ表示]の設定を行う必要があります。



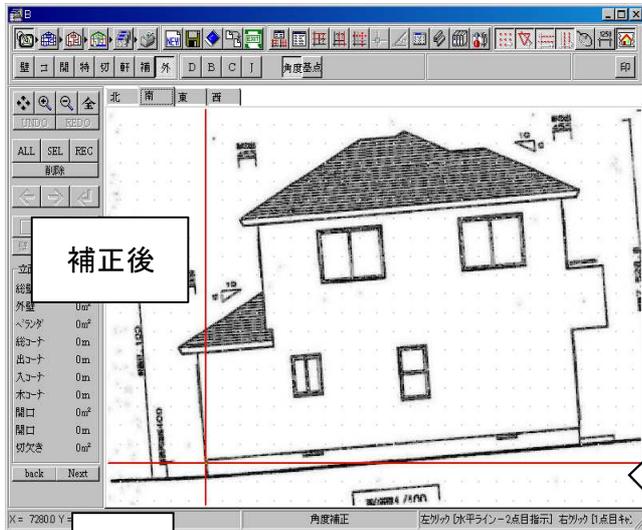
⑤ 下絵 (BMP、スキャナ、DXF) を読み込んだ後に、設定・編集された場合、確認メッセージ機能を追加

設定・編集を行った場合、確認ダイアログ画面を出すようになりました。



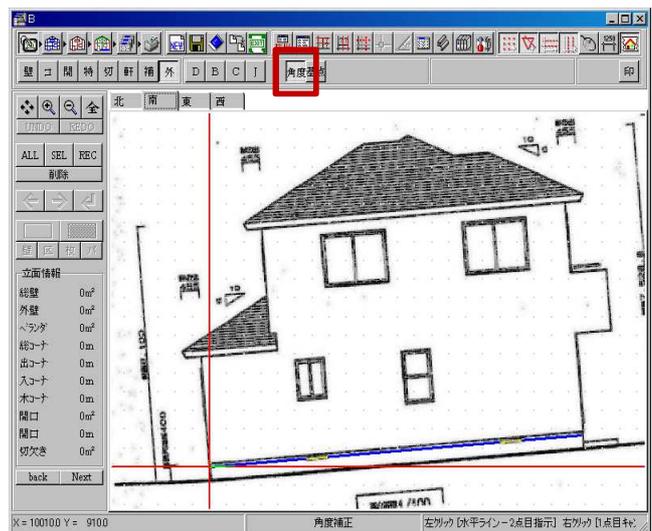
⑥角度補正コマンドを使用すると、補正前の状態に一旦戻らない機能を追加

編集を行った場合、編集状態を保持するになりました。

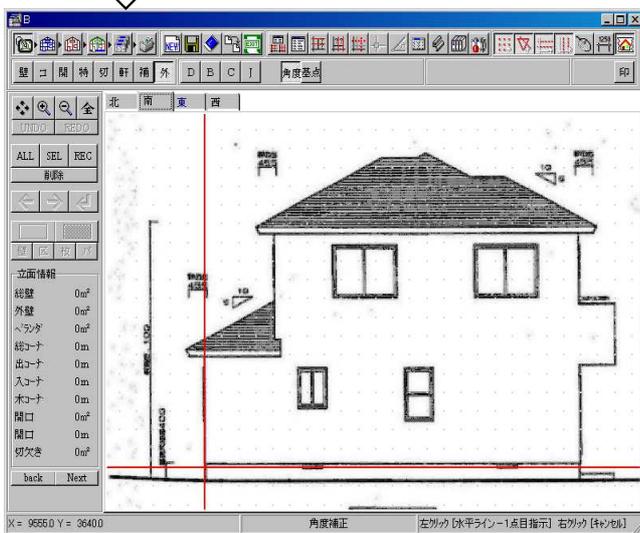


新しい入力の流れ

今までの流れ



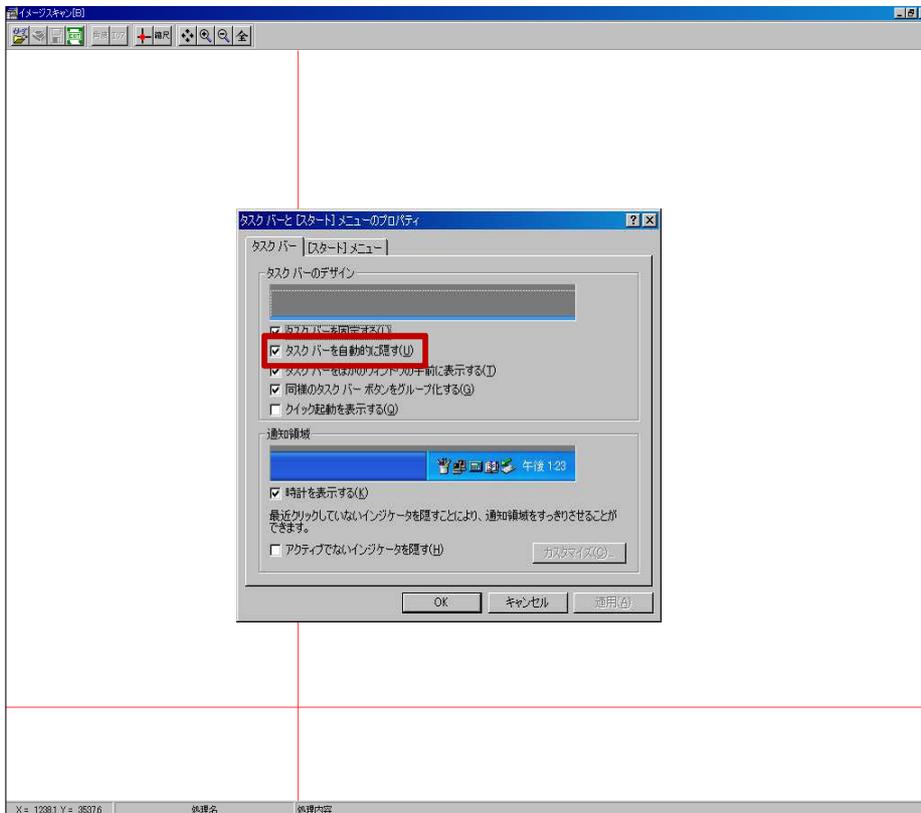
同じ傾きを保持



元に戻ります

⑦Windowsのタスクバーが常時表示状態でも、画面最大化で下端が隠れない機能を追加  
画面最大化で下端が隠れないようになりました。

今まで



改善

